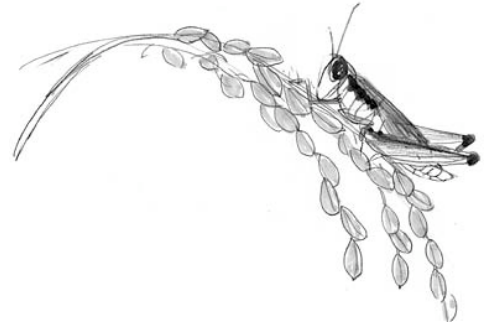


## 里山観察隊・今月の活動から

### プロジェクトからのおたより

8月21日、ネットワーク緑の牛久沼散歩にサポーターとして参加しました。  
8月29日、平成18年度の牛久地区ヘイケボタル調査を終了しました。現在まとめを進めています。9月9日、月例の里山植物観察会「絶滅の恐れのある湿地の植物」を、渡辺先生の解説で行いました。(編集註：その時の資料を3ページに掲載いたします。)



以下に原稿をいただいたのは、上記の企画にご参加の方の中から里山の会会員ではない方(高橋さん)、新会員となった方(星加さん)、会員ではないけれど三回もご参加の方(夏井さん)です。それぞれの目線で書いていただきました。

### 「船上からの牛久沼散歩」に参加して

去る8月21日の早朝より約2時間、環境保護グループ「ネットワーク緑」(宮下信子代表)主催の牛久沼水上散歩に、「うしく里山の会」から子供の参加者・男女7人(つくば市立荻崎第二小5年生)のサポーター役として依頼を受け、参加させて戴きました。

初乗船の私は童心に帰り、大野清船長(元牛久沼漁協組合長)の心のこもったお世話や情景に心奪われ、子供達の事をすっかり忘れてしまいました。

牛久沼から谷田川に入ると、水面の濁りが徐々に増し、ゴミや汚水臭が気になり、生活排水等が及ぼしている影響をじかに感じ取る事ができました。谷田川へ約9キロ行った帰り路、船長が水辺に咲く蓮の群生の中に舟を止めて下さり、蓮の実を取って食味したり、ピンクの花びらの中に黄金色に輝くまばゆいばかりに美しい蓮の花を至近距離で鑑賞する事ができ、とても感激しました。浮田は水量が多い為に水面下に眠り、ところどころに印された竿の先に止まる川鶺の美しいシルエットや、棧橋近くでは白鳥が優雅に私達の帰りを迎えてくれ、「夕暮れ時はもっと最高よ!!」と誘ってくれている様で、印象に残りました。

水上の小舟の中では、そこに乗り合わせた大人も子供も運命を共にするかの様な一体感を持たたと思います。こういう体験をもっと多くの子供達と味わえたら良いなと思いました。日本中、何処へ行ってもゴミだらけの現状。黙々と環境保護や美化に努めて下さっている人々に感謝しつつ、私も無理なく出来る事を生活の場で続け、近所の子供達にも伝えていきたいと強く思いました。全てに感謝です!

最後に、私の拙い一句を披露して筆を置く事にします。

谷田川の 水辺に開く桃蓮花  
辺り一面 極楽浄土

つくば市松代在住 高橋幸子



谷田川に咲くハス

「ほたるを見て思ったこと」

ほたるを見たのははじめてでした。思ったより光が弱いなあと思いました。 ほたるはかいちゅう電とうをあてると反のうして光るのに、クロマドの幼虫は光をあてると光らないのはどうしてだろうと思いました。

ほくは、てきからみをまもるためかもしれないと思いました。

ほくたちが見に行ったときは、もうほたるはすくなかったけど、150ぴきもとんでいるところを来年は見てみたいなあと思いました。

牛久小4年 星加聡平



クロマドホタルの幼虫とエサの巻貝

里山観察隊の高野さんからメールでお誘いを受け、上柏田地内の湿地まで行って野草観察をした。

湿地ではシソクサ、キクモ、ホシクサ、アゼトウガラシ、ミソカクシ（アゼムシロ）、コナギ、オモダカ、アメリカカキカシグサなどが花を咲かせていたほか、ミズワラビ、ミズニラも生えており、ミズニラについてはその孢子囊を観察することができた。

普段観ることのできない希少な植物も多く含まれており、とても有意義な一日だった。

明治大学法学部教授・弁護士 夏井高人



次回10月14日（第2土）遠山地区、水田と林縁の木の実を見ながら秋の里山を歩きます。

牛久自然観察の森駐車場集合8：30、現地に車で移動後に観察（～12：30）、小雨決行、図鑑、ルーペ、水、弁当（自由）  
問い合わせ：029-873-6562（高野）

森林総合研究所森の展示ルーム受託事業完了

森林総合研究所の森の展示ルームは今年も7月25日から8月31日までの23日間一般に公開されました。里山の会がお手伝いを始めてから今年で4回目（4年目）で、里山の会の会員が毎日交代で説明員を担当しました。

今年は親子あわせて618名の方が訪れ、展示ルームは連日賑わいました。ヒグマの親子の剥製や、世界の昆虫、触れる動物の毛皮、キノコのパネル、木の実の工作、木材の浮沈テストなど、こども達にはどれも楽しい体験ができるよう趣向を凝らしています。

つくばびっ子博士というのは、つくば市教育委員会の企画で、子どもに自然や科学を親しんでもらうための夏休みのイベントです。期間中一般公開された研究所を回ってスタンプをもらい、最後に作文を提出しつくばびっこ博士の称号をもらうという楽しいイベントです。今年の説明員は大半が常連のベテランで、こども達の素朴な質問にも分かりやすく丁寧に答えていました。今会期中は大きなトラブルもなく無事事業を完了することが出来ましたことをご報告いたします。

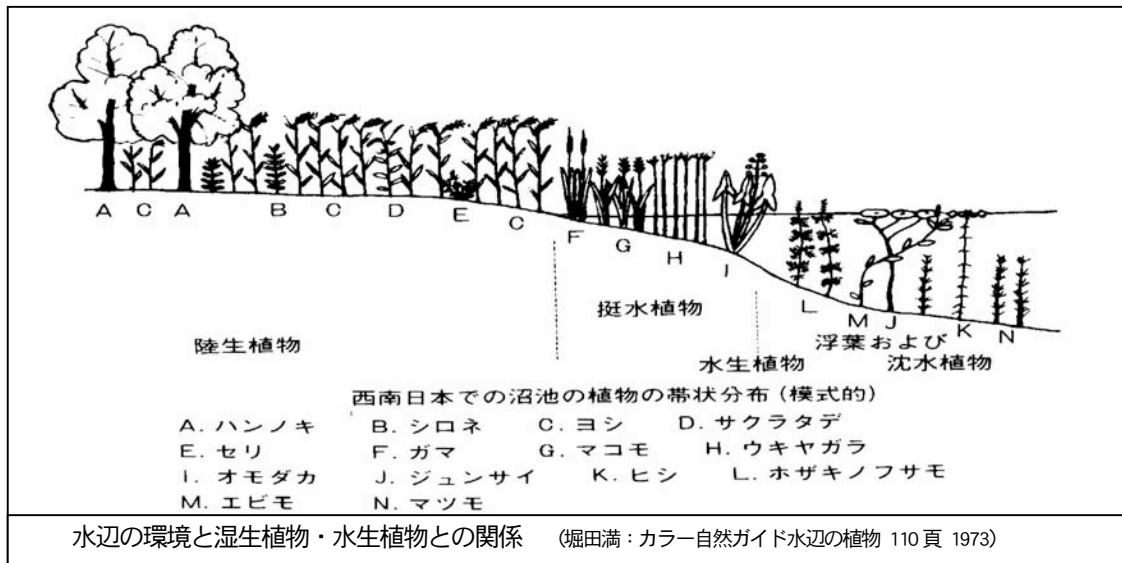


写真：金久さん提供

坂 弘毅記



# 牛久では現在、水生植物は多くが姿を消し、 各種の湿生植物が絶滅の危機に瀕しています！



## 水生植物

- (1) 挺水(抽推)植物: 根は水底にあり、茎葉は空中にある。オモダカ・ガマ・マコモ・ヨシなど
- (2) 浮遊(浮漂)植物: 水底に固着せず、個体全体が水中や水面に浮いている。ウキクサ・タヌキモなど
- (3) 浮葉植物: 根や茎は水底にあり、葉が水面に浮んでいる。オニバス・ジュンサイ・ヒシ・ヒツジグサなど
- (4) 沈水植物: 水底に根をはり、植物体全体が水中に沈んでいる。エビモ・フサモ・マツモなど

湿生植物 (湿った所に生える陸生植物で、水環境への適応範囲が広く、厳密な区別は困難。)



タコノアシ: 準絶滅危惧



ミズニラ: 絶滅危惧IB



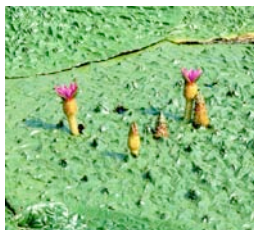
シソクサ: 絶滅危惧II



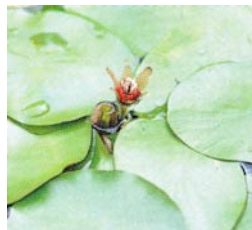
ホシクサ: 絶滅危惧IB



エビモ: 絶滅危惧IB



オニバス: 絶滅



ジュンサイ: 野生絶滅



タヌキモ: 野生絶滅

各植物の評価区分は「牛久市版レッドデータブック」2006による。 うしく里山の会 渡辺 泰 06年9月9日

※本資料は9月9日(土)、里山観察隊の配布資料です。

## 牛久自然観察の森 夏休み森の楽校2006レポート (報告：チーフコーディネーター斉藤孝)

子どもたちの歓声響く暑い夏が終わり、虫たちの音色が鳴り響く季節がやってきました。8月の入園者数は5087名、ゴールデンウィーク5月の入園者数4930名を上回る大入りとなりました。

平日の午前実施の小学生向けサマースクール「森の楽校」や各種クラフト教室、ガイドツアーなど主宰行事の実施回数は40回、参加者は938名となりました。中でも、上野、久保庭、若林インタープリターが中心となって企画した「森の楽校」には市内の小学生リピーターが多く訪れました。今年で3年目の同企画ですが、夏の定番行事としてすっかり定着した様子です。(少しですがその様子を写真でご紹介しますね)



森で「とおしゃんせ&遊び唄」新鮮な企画



久保庭レンジャーによる気圧・圧力の実験



水辺の生きもの観察も本格的な道具で!

## そばプロジェクト・「親が変われば、子どもも変わる」助成事業

1. 8月20日(日)、10人で170坪の畑に3kgのそばの種をまく。これはちょっと苦しい人数です。たよりにしていた三浦さんと飯田さんが欠席で、どうしたものかと思っていました。が、前日に飯田さんが80cm間隔に棒をたて、ところどころシュロ縄も張ってくれてあったので、目安にして省力で竹で筋をつけ、個分けした種をまいてゆきました。ず〜っと以前、雑木林の会のころ、関さんが「単純なことほど、よく手順を考えるのはとても大切だよ。」と言ってくれた言葉がすごく生きました。関さん、ありがとう。じょうずにまく方法を、応募で参加された綿貫さんが竹越さんに伝授していました。(竹越さん、教えて下さいね。)和田さんは、すじをつける、種をまく、肥料をやる分担を決めて、早々に終わっています。里芋の西側の100坪も11時半には終わり、やれやれでした。お出かけベープが活躍していました。

<これからの予定>

10月21日(土)刈り取り

10月28日(土)そば実落とし

11月18日(土)唐箕かけ

12月2日(土)そば打ち(参加費:会員600円位)

問い合わせ 横山 029-874-1430

2. 9月4日向台自治会子育てサロンで小林浩さんが鳴く虫の講演を行いました。約30組の未就学の子と親を前に、マツムシなど4~5種をみてもらいながら、住んでいる場所、飼い方の話しをしました。兄弟でムシキングの子もおり、目の色がかわっていました。5匹のスズムシをあげました。会場で鳴きだすのもあり、家でもよく鳴くと報告がありました。

3. 里芋とさつまいもの収穫と収穫祭

11月4日(土)雨天 11月5日(日)

9時半~13時 里芋の畑

じゃがいもの収穫祭と同様に、未就学児の親子を募集します。会員の方もどうぞ。(参加費:会員200円)

### 今月の巨木「浄妙寺のクスノキ」

毎月「巨木・古木・希少木リサーチ」の対象になった地域の銘木をお伝えします。

樹高: 20m 幹周: 4.5m 樹齢: 推定200年

所在地 牛久市井ノ岡町2130(浄妙寺内)

関東以西の暖地に自生する常緑高木です。木全体によい香りがあり、樟脳を沢山含んでいるため、葉を揉むと香気がただよってきます。

クスノキは、ニッケイやゲッケイジュとともに芳香を出すことから、薬用や香辛料に使われてきました。この大木は、「ナンジャモンジャの木」と呼ばれて古くから親しまれています。

- 「市民の木」案内板より-

写真撮影: 増田 勝彦



## 今月の運営委員会よりお知らせ

平成18年9月17日

<議席数18名のうち11名出席。1/2以上の出席>

### 1. 小野川クリーンアップ作戦を行います

軍手、長袖長ズボン、長靴、ごみバサミ持参で集合してください（事前予約不要）。前回のクリーンアップ作戦で配布されたバンダナをお持ちの方はご持参ください。（ごみ袋、リアカーは用意してあります）

日時：10月9日（祝）9：30～12時

集合：観察の森ネイチャーセンター前

### 2. 牛久市環境フェスタ参加の件

市内で活動する団体として一年間の活動実績や活動内容などをパネル等で展示します。里山観察隊、巨木・古木リサーチ、ありんこクラブ、雑木林応援隊、自然観察出前講座、あやめ園事業は出展を計画中です。展示物の作成や現地での展示についてご協力していただける方は、各プロジェクト代表にご連絡ください。開催日当日は、お誘い合わせの上ぜひご来場ください。

日時：10月7日（土）午前10時～午後3時

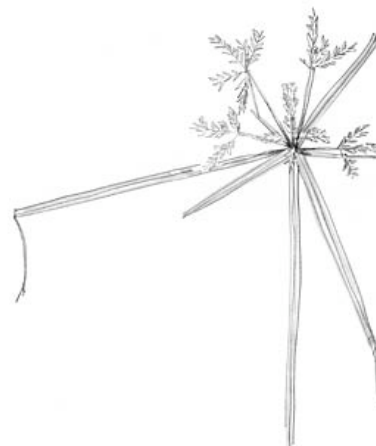
場所：中央生涯学習センター 多目的ホール

### 3. プロジェクトごとに救急箱を用意します

プロジェクトごとに必要な物をそろえた救急箱を用意することになりました。プロジェクト代表が用意しておりますので、虫さされやケガにご使用ください。

### 4. 会報「さとやま」の新しい記事を募集します

会員のみなさまからのユニークな記事を募集します。例）プロジェクトに参加されての感想、希少植物、牛久市在住で物書きの方の文章、エッセイ、1コマ・4コマのマンガなどです。みなさんで面白い会報を作っていきましょう！記事は観察の森・久保庭レンジャーにお送りください。連絡先は会報最後のページ「会報原稿募集中！」の欄をごらんください。



## 御注意下さい！ スズメバチの危険な季節は、もうしばらく続きます！

攻撃性の高い働きバチの数が最も増えるのは8～9月、さらに10月は雄バチや新女王バチが増え、まだまだ働きバチも活発に活動しています。対応を再度確認下さい。

### 備え

長袖、長ズボンで白っぽい色の服装帽子の着用。化粧品香水の使用は×（化粧品、清涼飲料の中にはハチを刺激する匂いを含む物があります。）以前ハチに刺され重い症状が出た事の有る方は、あらかじめプロジェクトメンバーにお知らせいただき緊急時に備える事をお願いします。

### 遭遇時の対応

もしハチが周りをしつこく飛ぶ、狙いを付けて空中で停止する、カチカチ音をたてる。→「巢に近づくな！近づくと攻撃するぞ」が意の威嚇行動です。できるだけじっとしてハチが飛び去るのを待ち、静かに速やかにその場を離れましょう。振払ったり騒いだりは禁物です。

### 刺されたら～事故後の対応

- ・ポイズンリムーバー等で毒を吸い出す。傷口を冷やす。ステロイド軟膏、抗ヒスタミン剤の服用。
- ・時間を置かず病院へ。
- ・速やかに事故内容を観察の森ネイチャーセンター、うしく里山の会代表にも御連絡ください。





# 10月の里山カレンダー

※活動日は都合により変更になる場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
1 ○巨木古木リサーチ(受) 8:30森P	2 (休園日) ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	3	4 ○雑木林畑隊 9:30畑	5 ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	6 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑	7 ○雑木林応援隊 9:00炭小屋  (会報等原稿〆切)
8 ○雑木林応援隊 9:00炭小屋 ○里山聞き取り 9:00NC	9 体育の日 ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	10 (休園日)	11 (休園日) ○雑木林畑隊 9:30畑	12 ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	13 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑	14 ○里山観察隊 8:30森P
15 ○運営委員会9:00NC ○広報11:00NC	16 (休園日) ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	17	18 ○雑木林畑隊 9:30畑	19 ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	20 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑	21 ○そばP 9:30畑
22 ○雑木林応援隊 9:00炭小屋	23 (休園日) ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	24	25 ○雑木林畑隊 9:30畑	26 ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	27 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑  <b>会報発送予定</b>	28 ○巨木古木リサーチ(受) 8:30森P ○そばP 9:30畑
29	30 (休園日) ○アヤマ園(受) 8:00アヤマ園P	31				

森：観察の森， NC：観察の森ネイチャーセンター， (受)：受託事業， P：駐車場， (休園日)：観察の森休園日

## 会報原稿募集中！

会報「さとやま」の原稿を募集しています。各プロジェクトや特別事業からの報告、「さとやま」にふさわしい情報などをお送りください。

原稿は400字詰め原稿用紙2枚(A5)、または4枚(A4)の分量でお願いします。テキスト(手書き可)をメール、または郵送でお送りください。写真がある場合はプリントまたは画像ファイルもお送りください。(写真を含む記事はそのぶん文字数を減らしてください。)記事送り先は下記です！

牛久自然観察の森 久保庭敦男  
メール skyranger-mori@u-satoyama.jp  
300-1212  
牛久市結束町489-1 牛久自然観察の森

## 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・

私が会報の編集作業をさせていただくようになってから5ヶ月が経とうとしています。考えてみれば、会の活動を足跡・歴史として残せるのは会報だけだったのですね。100年後の未来、会はどうなっているのでしょうか？



「自然と人との調和」はずでに成り立っていて、会は必要なくなり会報だけが残っているかも知れませんね(笑)

「会報は外に向けては会の顔であり、内に向けては動脈です」という言葉を聞いて、改めて会報編集の責任感を噛みしめています。(記 安村)

次号(11月号)の印刷発行は10月27日頃を予定しています。お手伝いいただける方を随時募集してます！編集担当者にご連絡ください。よろしくお願いします。

会報さとやま 2006年10月号(発行・NPO法人うしく里山の会)  
事務局 300-1236 茨城県牛久市田宮町808-20 電話029-801-2500(代表 坂弘毅)